

次整備していきたい。また、修繕については、現状回復を目的に行っており、児童の安全確保を判断基準として取り組んでいきたい。

投票事務のあり方

児童保育

介護予防の推進

所得格差と市民影響

市民 フォーラム 牛窪 多喜男

所得格差の存在は社会に大きな影響を与えているが、所得格差と社会不安を少しでも縮小するために、川越市としてできることは何か。

まずは市民の所得を確保していく観点から、産業振興に努めていきたい。具体的には、現在進めている工業団地拡張や中心市街地活性化等による雇用の確保が挙げられる。また、若年者の不安定就労は所得格差の拡大や婚姻の阻害要因となる等社会的な影響も及ぼす為、引き続き「若者就職面接会」を開催すると共に、若年者や中高年齢者を対象として、様々な不安の解消や就労支援に資する相談事業を更に充実させていきたい。

所得格差と市民への影響

水と緑の街づくり

市民 フォーラム 高橋 剛

今夏は猛暑が続いた。暑さ対策には水と緑の機能を活かした「保水力」のある街づくりが必要と考えるが、市の認識はいかがか。

住み良い街とは、水と緑が存在する街のことだと考える。従って、緑のある施設、例えば公園や街路樹、学校等を効率良く市内に配置しつつ、今後は保水性のある舗装や建材の活用を検討して、都市の保水力を高めていきたい。

また、議会の協力を得て新たな条例を作りたい。具体的には、コンクリートで広い駐車場を作る場合、一割は土の部分を残して頂き、降った雨水をそこから地中に浸透させる、というような内容である。

「暑さ」対策と電力需給

地域力向上の為に

公明党 近藤 芳宏

市民参加と協働の目的を実現する為の仕組みとして、地域分権的な発想と地域予算制度導入の検討に関して、川越市の見解をお伺いする。

昭和三十年の合併後、市としての一体感を醸成する努力を重ねてきたが、市内各地区は情勢が異なることから、各地区の特性を踏まえ、ある程度自由に活動し、地区の総意でその地区の存在を認めることも重要である。そこで、地域のことについては地域の方々が自ら決定する地域自治区の発想や地域別予算の発想は、まちづくりを推進していく上で、協働とともに一つの有効な手段と考えられるので、今後、研究をしていきたい。

協働の目的を実現する為に

乳がん検診の拡充

公明党 小ノ澤 哲也

乳がん検診を拡充する為受診枠を拡大すると共に、乳腺X線撮影だけで無く、新たに超音波検査を加えるべきと思うが、見解をお伺いしたい。

日本の死亡原因の一位がガンであり、本年の四月一日から「がん対策基本法」が施行された。これには、地方公共団体の責務も明確化されており、がん検診の質の向上を図るために必要な措置を講ずることが規定されている。こ

のようことも踏まえ、今後、

乳がん検診の超音波検査機器の導入や、検査精度の高いがん検診の実施に向け検討するとともに、効率性を高め受診枠の拡大に努めてまいりたい。

がん検診の拡充

防災対策

久保川の整備促進

啓政会 山口 智也

久保川の整備促進については、過去においても数回質問をしてきたが、今回は特に久保川の整備の進まない理由について、伺いたい。

久保川については、埼玉県が平成十八年二月に策定した「新河岸川ブロック河川整備計画」に準じて、平成十八年度に「久保川河川整備全体計画」を策定した。この計画の実現に向けて狭山市等とも協議を重ねてきたが、総事業費約百十六億円の財源を確保しなければならず、更にその負担割合をどうするかという問題、改修開始年次計画が相違する問題等があり、調整に困難を極めている。

鏡山酒造跡地の活用策
不老川・久保川の整備状況

介護保険負担軽減を

日共党 柿田 有一

制度改定により介護保険の保険料段階が改定されたが、段階ごとの人数構成はどのように推移しているか、原因と併せてお聞きしたい。

平成十八年度より保険料段階区分を五段階から八段階に細分化している。旧第二段階区分は新第二・三段階区分に、旧第五段階区分は新第六・七・八段階区分に細分化した。現在の区分を旧五段階区分に読み替えると旧第二・三段階区分において人数構成比は減少している。傾向として非課税段階の構成比が減少にある一方、課税段階区分の構成比は増加にある。原因は税制改正の影響が考えられる。

改定後の介護保険
南小畔川の浚渫

こども医療費の拡充

日共党 川口 知子

小学一年生の通院を無料にすると約一億円。来年、国や県の年齢拡大で市に約九千万円増収に。この財源をこども医療費拡充にあててほしい。

答 こども医療費の通院助成を拡充するのに要する経費は、小学校一年生までで一億円強、卒業なら五億円以上、中学校卒業だと七億円以上必要になる。相当金額が大きくなるが、子育てプラン等にもある以上、段階的にでも拡充の方向をとりたい。

ただし、費用の問題もあるので、県や他市の動向に加え、当市の子育て支援に関する他の施策を勘案しながら、努力していきたい。

命と健康を守る保健医療を
山王塚古墳の公園化を

旧市内の渋滞対策を

目共覧 本山 修一

問 渋滞対策として、中心市街地周辺に大きな駐車場を確保して、車をそこに駐車させバス等で目的地へ向かうパークアンドライド導入を問う。

答 中心市街地の交通渋滞緩和には中心市街地への自動車の流入を抑制する方が必要と考えており、今後の協議を踏まえ郊外型駐車場が完成した場合に、部分的にでもパークアンドライドを実施したい。なお、交通規制等、市街地に

車を流入させない他の施策と合わせることで効果が増すと考えるので、市北部中心市街地交通円滑化の方策の改善策や総合的な交通需要マネジメント施策と合わせ実施をしたい。

中小企業振興基本条例制定
旧市内の諸問題

少人数学級の促進を

目共覧 佐藤 恵士

問 平成十六年から小一（県）小二、中一（市）の少人数学級を推進してきた。この施策を小六に市独自でさらに推進してはどうか。

答 少人数学級実施校の報告によると、学習指導や生活指導等様々な面で成果が上がっている。現在の学校教育では、生きる力を得るのに必要な能力を確実に身に付けられるよう、児童生徒一人一人にきめ細かく指導することが重要であり、それには少人数学級の導入が有効である。しかし、財政面や施設整備面での課題もあることから、十分に検討した上で行っていきたい。

伊佐沼の水質浄化対策・五
小中学校の少人数学級推進
市の行政財産

高階交番誘致
民主党 山木 綾子

問 高階交番が廃止されて二年以上が経過した。川越警察等と協議してきたようだが、高階出張所前の築山を整備して交番を設置できないのか。

答 交番については、要件にあった用地の確保ができず現在に至っている状況である。築山を撤去して新たな建物を建設することは技術的には可能性があると思われるが、いくつかの課題もある。特に敷地については川越警察から提示された要件と比較すると狭小であり、要件を満たしていない状況である。いずれにしても、厳しい状況ではあるが引き続き研究していきたい。

男女共同参画プランⅢ
交番誘致
図書館

川越まつりゴミ対策

市民ク 川口 啓介

問 川越まつり二日間で約二十七トのゴミが出る。現状の喫煙所と七ヶ所の臨時ゴミ箱では足りないのでは、それぞれ更に増設が必要ではないか。

答 喫煙者への対応として、路上喫煙の防止に関する条例に定められた路上喫煙禁止地区外の場所に臨時の喫煙場所を設置することを検討しており、看板等で明示することで路上喫煙禁止地区での喫煙防止効果も向上すると考えている。ゴミの持ち帰りが望ましいと認識しているが、まつり当日に多量のゴミが出ることも事実である。ゴミ対策の一環としてゴミ箱の設置場所の見直し等と合わせ、増設も検討したい。

市の借金と利息は？

市民ク 菊地 実

問 現在、市の借金の一般会計、特別会計、開発公社等の金額と利子を含めた総額は？近く着手する事業を入れたらいくらになるか。

答 一般会計と特別会計を合わせた平成十八年度末市債残高と利子の合計は約一千三百三十九億三千五百万円となり、これに川越市土地開発公社の借入金と利子を加えると、合計は一千四百七十七億六千六百万円となる。また新清掃セン

ター建設等、継続費を設定し、進めている四事業の市債と利子の合計は約百八十八億五千五百万円となり、元金と利子の返済総額は約一千六百六十六億一千六百万円となる。

本庁舎の地震対策

啓政会 新井 喜一

問 長岡市では、スペース、立地、コスト等から耐震改修ではなく本庁舎移転を決定した。川越市も決断するべきと思うが市長の考えを伺いたい。

耐震診断・調査と対策
市の借金など

答 今の本庁舎を改修して使うには無理があるため、川越駅西口に移転すべきだと考えている。駅の西口には県と共同で拠点施設を建設するため、その中に入れば良いが、無理な場合でも既にある市有地に対応したい。他市の例にもあるように、分譲できる施設を入れることでコストを抑え、今の庁舎は市北部の賑わいのために使い、川越駅西口には川越のシンボルタワーとして、そして今後の発展の礎としての施設を建設したい。

本庁舎の地震対策